

# 広報 カナダ

2000  
9/1号

かんどう・なかよし・だいすぎ

NO406

9月9日は救急の日

## ごあんない

- (P 2~7) ……特集・救急車が来るまでの5分間
- (P 8~11) ……まちの話題
- (P 12~13) ……お元気ですか? 食進会です
- (P 14~15) ……みんなのひろば
- (P 16~19) ……くらしの情報



福岡県金田町

# 救急車が来るまでの



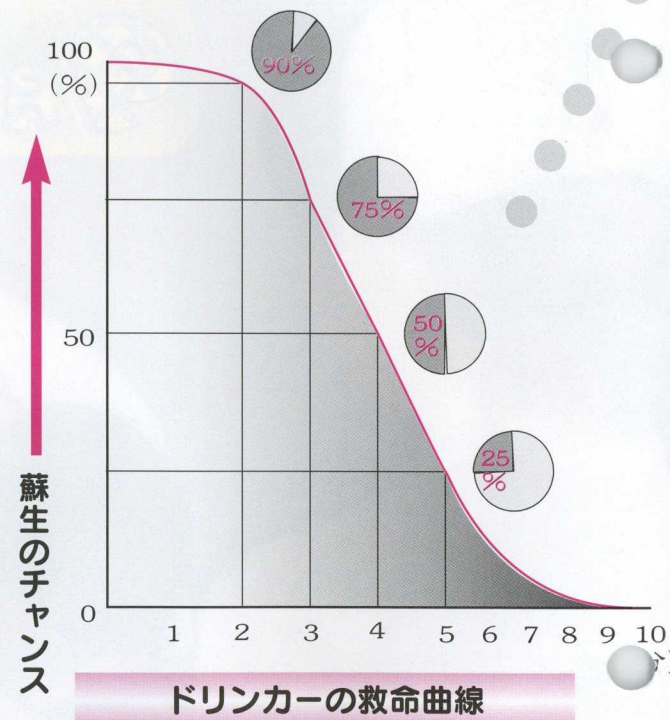
## 5分間の愛の手が命を救う！

あなたの家族が、楽しい家庭の団らんの時に突然胸の痛みを訴え倒れてしまった。

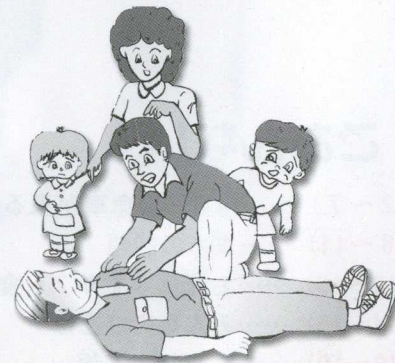
救急車を呼んだが、到着までの間に顔は青ざめ、呼吸も停止してしまった。

さあ、その時あなたはどのようにしますか？心肺蘇生を試みますか？ 救急車到着までの約5分間が患者の生命に大きく左右します。

知っていれば心肺蘇生を行なうことができる。心肺蘇生のおかげで家族の命が救われる。そばにいる人にしかできない心肺蘇生で、救急車到着までの魔の5分間をつなぎとめよう。



- ド** →呼びかけ。→どうしましたか？
- レ** →連絡して下さい。→119番して下さい。
- ミ** →3つ見る。→①口の中を見る ②気道確保して見る ③呼吸を見る
- フ** →フーと息を吹き込む。→人工呼吸。
- ソ** →ソ〜と脈を見る。
- ラ** →らっ骨→ろっ骨→心臓マッサージの位置。
- シ** →心臓マッサージ。
- ド** →どうかみなさん勇気を持って。



### 心肺蘇生の必要性 ドリンカーの 救命曲線より

突然起こった呼吸停止や心停止は、一刻も早く適切な処置を行わなければ、酸素欠乏に最も弱い脳に重大な障害を与え、たとえ心拍が再開しても植物化といわれる後遺症を残すこととなります。

しかし、直ちに心肺蘇生処置を行えば、回復させることもできます。呼吸停止や心停止が確認されたら速やかにその場で人工呼吸や心臓マッサージを開始し、救急隊員の到着まで引き続き続けることがいかに大切であるかを表わしています。

### 救急の連絡を受け 到着までに約5分 (田川地区消防署管内)

119番の連絡を受け(正確な情報による)救急車到着までに、田川消防署管内で約5分かかります。その間に呼吸停止・心停止状態の患者さんをそのままにしておけば、生命生存率は急激に下がります。

### あなたにもできる心肺蘇生法の手順

#### 1. 意識の観察

倒れた人への呼びかけ、肩をたたくななどの刺激を与え、意識の有無を調べます。意識がなければ、大きな声で助けを求め、次にガーゼなどを指にまき拭きとる。



#### 2. 気道の確保

意識がなければ、ただちに気道の確保を行なう。片手の手のひらを額におき、他方の手の人差し指と中指を下あごの先の骨の部分におき、あごを持ち上げながら頭を後ろにそらせる。



#### 3. 呼吸の観察

気道を確保したら、5秒間、胸部や上腹部の動きを見ながら、鼻や口からの空気の出入を聞く。また、呼吸の有無を調べる。

- 見る ●聞く ●感じる



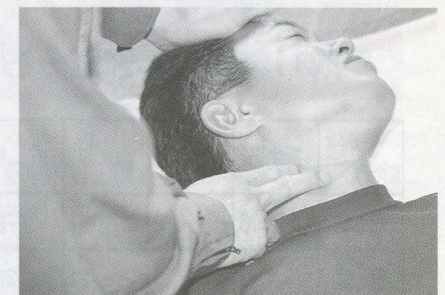
#### 4. 人工呼吸

気道が確保しても、呼吸が感じられなければ、自分の口を大きく開け傷病者の口の回をかぶせるようにして大きく2回息を吹き込みます。



#### 5. 脈拍の確認

2回の人工呼吸が終われば、ただちに頸動脈で5秒間脈拍の有無を調べる。



#### 6. 心臓マッサージ

脈拍確認で脈がなければ、胸骨の下半分に手のひらをおき、その手の上に他方の手を重ね、両肘をまっすぐに伸ばし上半身の体重を利用して、ろっ骨を3.5～5cmの押し下げを1分間に80～100回のリズムカルなスピードで行なう。



# 救急の現状と今後の

ゆ く え

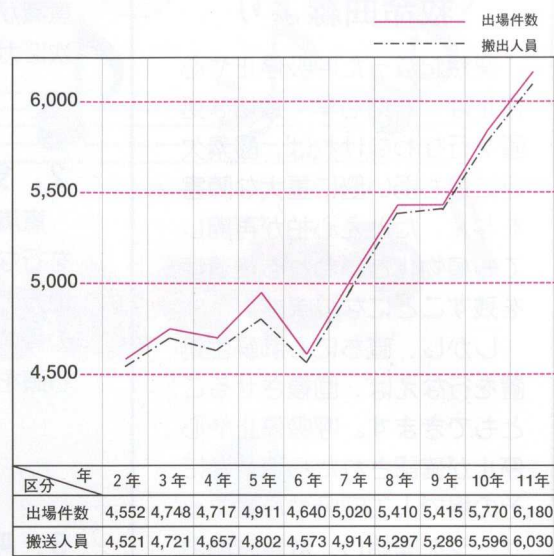
## 田川地区管内の救急出動は？！

平成11年度の救急出動件数は6,180件で、搬送人員6,030人の患者を搬送しています。

また、10年前の平成2年度の救急出動件数は、4,552件で輸送人員4,521人を搬送というデータから、年々救急出動件数は増え続け10年間で約36%増の1,628件も増えています。

このことから、今後ますます救急出動件数は増えていくことが予想されます。

## 救急活動の推移の変化の状況



## 田川市郡では、25人に1人が搬送！

平成11年度中に救急車で搬送した6,030人を年齢区分別にみると、成人2,541人（42.1%）、以下少年・乳幼児・新生児の順となっています。

また、傷病の程度は、救急隊員が医療機関に搬送した時点で、死亡と確認された方は90人（1.5%）・重症822人（14.6%）・中等症2,348人（38.9%）・軽症2,706人（44.9%）・その他〔自宅搬送〕4人（0.1%）で、死亡および重症の方の半数以上が老人の方で占められています。

田川地区管内の特徴として見落としてはいけない

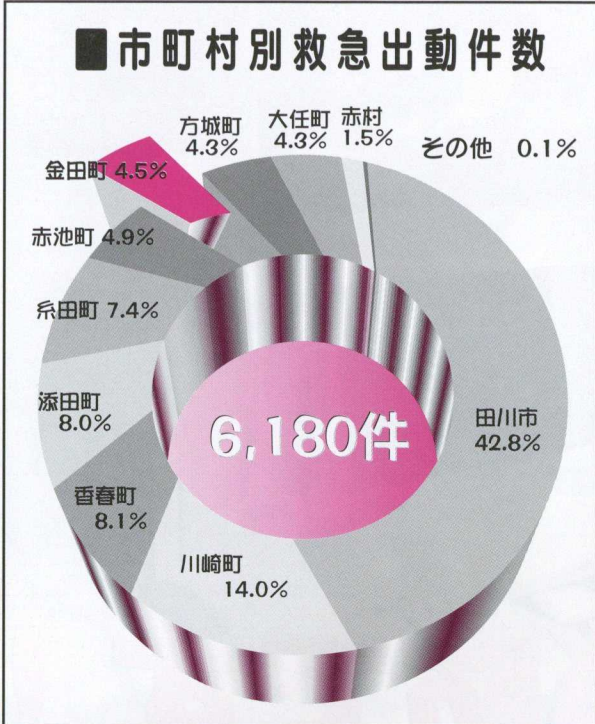
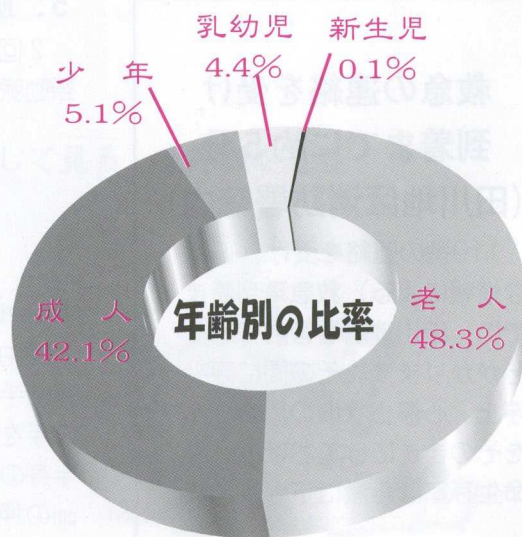
のが、軽症2,706人（44.9%）の搬送、老人2,912人（48.3%）の搬送で占められているデータです。軽症者の搬送中に重症者の搬送が増えるといったことも少なくなく、重症者への救急車到着までの時間が長かかっているといったことが、重症患者の生命の危険にさらされる状態が現状として起こっており、今後の問題点として考えられます。

また、田川地区消防署管内においては、今後ますますの高齢化が進むことはまちがいない、核家族化していることも救急搬送件数の増加につながっていくものと思われます。

## 平成11年度の年齢区分および傷病程度の分類表

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	合計	前年	前年比
死亡	0	2	1	26	61	90	79	+ 11
重症	3	15	21	267	576	822	879	+ 1
中等症	3	59	111	850	1,325	2,348	1,988	+360
軽症	1	190	171	1,397	947	2,706	2,640	+ 66
その他	0	0	0	1	3	4	10	- 1
合計	7	266	304	2,541	2,912	6,030	5,596	+434

備考 ●新生児=生後28日以内 ●乳幼児=生後29日以上～7歳未満  
●少年=7歳以上～18歳未満 ●成人=18歳以上～65歳未満 ●老人=65歳以上  
●その他=自宅搬送



# 救命士は訴える！



『患者さんが一旦、心肺停止状態に陥ったとき、患者さんを救えるのはそばにいる方です。』

救急隊や病院はもちろん最善の努力を行ないますが、死の世界に落ちていく家族をつなぎ止めるのは、家族などそばにいる人です。

救急隊員が、心肺停止患者さんに触れることができるまでには、「119番」通報を受けてから約5分の時間がかかります。

この5分間が、患者さんの運命を決定するといっても過言ではありません。』

『平成11年に全国の救急隊員が搬送した心肺停止患者は83,353人で、家族等が心肺蘇生を実施した数は19,212人（23%）です。そのうち7日後の生存者数は1,261人（6.6%）の方が生存したというデータあります。』

このデータを田川地区消防署管内に置き換えてみると、心肺停止状態の患者124人が搬送され、家族による心肺蘇生を受けた患者さんは21人（17%）で、そのうち7日後の生存者数2人（1.6%）と非常に少なくなっています。』

『このデータから分かるように、目の前で心肺停止患者が発生し、心肺蘇生を受けた患者さんが全国に比べ非常に少ないことがうかがわれます。』

もし、身近な人が心肺停止になったら「何をしたいのか分からない?」、これが大多数の人の意見です。そのようなことのないように、消防署等で行なう講習会を受講しておけば、万が一のときには必ず役立ちます。』

	心肺停止状態者	心肺蘇生を受けた	7日後生存者
全国	83,353人	19,212人	1,261人
田川	124人	21人	2人